

令和6年度 大学公開講座 実施報告書

「学校に行けない（行かない）子どもたち

～その現状と課題 学校・家庭・地域にできること～」

1. 講師 山田 彰利 （弘前大学大学院教育学研究科教授）

2. 日時 令和7年3月15日（土）13：30～15：00

3. 会場 青森県総合社会教育センター第5研修室

4. 参加者数 26名

5. 内容

- 不登校児童・生徒の現状・課題
- 歴史的な視点
- 国・県・学校の取り組み
- 何ができるか（基本的な考え） 等

6. 実際の様子



- ・ 文部科学省の指導資料等を基に具体的な事例を交えながら受講者に分かりやすくテーマについて語っていただいた。
- ・ 教師、保護者、スクールカウンセラー、有識者等様々な立場の人が受講していたが、それぞれの立場から不登校児童・生徒の支援について思いを深めていた様子が頷きや表情、質疑応答から伺えた。
- ・ 「みんなちがってみんないい」という理念は分かっているが、特に学校現場において教師がそれを実際の行動にうつしているかは疑問だという講師の締めくくりの話は、自分も含め受講者の心におちたのではないかと思う。